

厚塗下地調整・補修材（0～15mm）

Aモル#150

【施工要領書】

平成24年4月1日



二瀬窯業株式会社

用 途

適応下地 コンクリート面、PC板、ブロック面、ALC面等

不陸調整 塗厚0～15mmの下地調整及び補修材

タイル下地 3～10mm (JIS A 6916 CM-2 適応範囲)

施工手順**1. 下地の確認**

- (1) 下地面の突起物、レイタンス、硬化不良などによる脆弱部分、型枠離型剤などの油脂分は、サンダー、ケレン棒又は、ワイヤーブラシ等で除去し、水洗いを行って下さい。下地との接着性を確保するため、カップリングや高压洗浄により目荒らしを行なってください。
- (2) 極端な不陸・ジャンカ・豆板・大きなひび割れ・大きな気泡穴・破損部分等は予めAモル#150で付け送りして下さい。
※付け送りした際には、24時間以上養生を行って下さい。
- (3) 露出した鉄筋・番線・釘等は錆を除去した後、エポキシパテ等で防錆処理して下さい。

2. 吸水調整

- (1) 下地の清掃が終わった後、ユニレックス3の3倍希釈液にて吸水調整を行って下さい。下地表面が乾燥した後、Aモル#150の施工に移って下さい。目安としては4時間以上です。
※下地の吸水が大きい場合はユニレックス3の3倍希釈液を塗布した後、乾燥後もう一度ユニレックス3の3倍希釈液を塗布して下さい。

【希釈配合】

3倍希釈液…ユニレックス3	1L	+	清水	2L
---------------	----	---	----	----

ユニレックス3 270m²/缶 (18L/缶)

3. 材料の混練

- (1) Aモル#150 1袋 (25kg) にユニレックス3を1Lと清水約7Lを加えてハンドミキサー等で混ざりムラのないよう均一に練り混ぜて下さい。

調合…Aモル#150	25kg	+	ユニレックス3	1L	+	清水	約7L
------------	------	---	---------	----	---	----	-----

Aモル#150 約4m² (塗厚5mm時)

4. 塗り付け

- (1) 施工面にピンホール等があれば、まず拾い塗りをして下さい。
- (2) 施工面に対してコテ圧を十分にかけるがらしごき塗りを行って下さい。
- (3) しごき塗りした後、追っかけにて所定の厚みまで塗り付けて下さい。

5. 仕上げ

- (1) 仕上げ施工に応じて、定木ずり、木ゴテ等で仕上げてください。
- (2) 定木ずりを行なう場合は、定木は下から上へ送るようにして下さい。
※ 水を使用しての仕上げは行なわないで下さい。

6. 養生

- (1) 塗り付け後に、降雨雪の恐れのある場合、または、通風・日照の激しいときはシート掛け等の保護養生を行って下さい。
- (2) 夏場施工の際には、Aモル#150の塗り付け翌日に散水養生を行って下さい。
- (3) 塗り付け後の養生期間は7日以上とし、その後、次工程に移って下さい。

注意事項

1. 寒冷期、気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、原則として施工は行わないで下さい。
2. 直射日光・風雨時には、シート掛け等十分な養生をして下さい。
3. Aモル#150の保管は、湿気を避ける場所にして下さい。
4. Aモル#150には、当社が指定したもの以外のものを混入しないで下さい。
5. 混練した材料は40分以内に使用して下さい。